

質問4. 所属する学会について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	日本生物工学会
※	無し
※	日本救急医学会、日本内科学会、日本外科学会、日本運動生理学会、日本体力学会に所属しています。
※	なし
※	日本進化学会

質問5-2. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

回答者 番号	テーマが偏っている記述
	記述なし

質問5-8. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	通信トラブルが発生した場合の事後処理と対応についても。一般参加者にも伝えていただいた方が良いと思う。事故事例を今後にも生かした方が良い。
※	昨日の18:30からの〇〇〇での〇〇〇先生(?)でしょうか、時間を守らず、お粗末で独善的なプレゼンテーションには、観ている方も辟易しました。今後、こういった先生に講演させないようにして戴きたいものです。

質問6. ワークショップについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	部屋の移動が簡単で同時視聴もできてありがたかったです。
※	オンサイトと同じ時間では、オンラインの方が疲れやすく、聞き取りづらかったりするなどもありもう少し細かく休憩時間が欲しかった。

質問7. 一般演題(ポスター発表)全般について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ページ遷移すると「時間外です」のようなメッセージが出てポスターへアクセスできず、非常に戸惑った。もう一度スタートページからアクセスをやり直さないとポスターに行きつけず、不便極まりない。ポスター・セッション・要旨・発表一覧の間を自由に行き来できるようにしてもらいたい。
※	ポスター発表に関しては、従来のポスター会場の空間的な視認性や移動ができるともう少し、各発表へのアクセスしやすく、プレゼンターとの距離の把握にも役立つのではないかと感じました。zoomで各発表に小部屋を作るだけでなく、そのひとつ前のUIとして、SpatialChatで従来のポスター会場のパネルに各発表者を割り当てたり、GatherTownで会場を移動しつつ、参加者とのコミュニケーションをとれるようにするなどの工夫があってもよいと感じました。
※	ポスターのサムネイルが少し見づらかったです。一画面に表示されるポスター数が少なく探すのに時間がかかりました。
※	抄録を事前に見る時間が不足した。会期前に閲覧できないか！
※	良いメント悪い面、両方あるので何とも言えない。参加者が少ないと1:1になり、なかなか抜けにくい。チラ見しにくい。参加者が多いと質問するタイミングが難しい。時間内に見ることができるポスターが少なくなった。
※	スライドを共有している人とポスターをPDFで共有している人としたが、ポスターだと他のデータなども表示されているので、比較的オンサイトに近い状態で聞けたが、図一つ一つが小さく見づらい。逆にスライドだと途中から入ると最初に戻るまでの時間が分からずしばらくそこにいることになるので、やや時間が勿体ない気がした。ただ、おおよそ20分前後で質疑応答込みで説明が1周りしていた印象だったので、全部説明を聞こうとすると1日に6ポスターしか見られずあらかじめ要旨をかなりみて厳選しないといけないと思った。
※	詳しく聞きたかったが不在？開かれていなかったところがあった。
※	ポスター発表の演題と要旨の一覧が無く、発表会場を全てのぞいていくことは難しかったので、発表を確認することができなかった。どこかに演題の一覧くらいはあったのかもしれないが、事務局に問い合わせても回答がなかった。
※	一覧がもう少し見やすくなればと思います全体像が3枚ずつしか表示できないのは探すときに不便でした

質問8. 年会会期中の各日のタイムテーブルについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	シンポジウムなどはオンデマンドで会期中いつでも視聴できるのは非常に助かりました。unpublishデータが出にくいシンポジウムなどは、全講演オンデマンド化していただけると、LIVEで発表のポスター発表の時間だけに集中して時間が割けるのでよいかと感じました。その場合には、現状のUIではポスター発表の行き来が非常にまどろっこしいため、ポスター発表の時間枠はもう少し長くしていただきたいです。
※	12/3(木)〇〇〇のセッションは、押せ押せになって、21時に終了しました。本当は、20時ですよ？もう少し早く終わる/終わらせる努力をお願いします。
※	9-20時はちょっと長い。職場もしくは自宅を考えるとどうしても聞けないところが出る。
※	全てがオンデマンドにはなっていなかったため、どれがライブのみかを確認してから予定を組むのが大変だった。
※	オンラインでの参加の場合、会場に行っているときとは異なり、通常の業務から完全に逃れることはできないので、一日中ほとんど空き時間がないスケジュールは困った。
※	主催側でオンデマンド配信をもっと取り入れてもらいたいです。

質問9. 発表言語について <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	英語の訓練は確かに必要だが、内容の理解が不十分のままの人もいると思うのでそのあたりへの配慮があるとよい。逐次通訳など。
※	こういう時期だからこそ海外の研究者とのオンライン議論を積極的に進めたいという欲求は理解できるが、ドメスティックに頑張っている人々へのフォローも大切である。少なくとも英語「必須」というのは考え直すべきだ。オンラインでの機器操作にも不慣れなうえ英語も堪能とは言えないという人が表に出ていると、正直辛い場面があったのも確かである。
※	私は、臨床で外科・救急医学を専攻してきた者です。留学経験がないので、正直、100%の理解はできませんが、可能なら、最近のトピックスに関して、日本語のspeskerも入れて欲しいです。今は内科で診療所をしていますが、生化学・分子生物学学会等からの最新の情報は、本当に役に立ちます！

質問10. フォーラムについて（その他）

回答者 番号	その他記述
※	家庭の事情でなかなか時間帯が合わず参加できませんでした。オンラインなので現地開催だったら参加はできなかったことを考えるとオンライン開催は大変ありがたいのですが、こちらもオンデマンドで視聴できると助かります。
※	いつもはフォーラムに参加したいと思いつつ、一日発表を聞くと疲れてしまい、聞かずに帰っていました。でも、オンラインだと余裕もあり、3日ともフォーラムに参加することができました。とても面白く、有意義でした。思いがけないオンライン効果で

質問11. 年会の特別企画について、良かったと思うものにチェックしてください <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	会期後のオンデマンド配信期間について、いつまで閲覧可能か事前に会報で教えていただきたかった。

質問12. オンライン企業展示会・バイオテクノロジーセミナーについて（要望・その他）

回答者 番号	要望・その他記述
※	facebookで案内はあったものの参加方法がよくわからず、企業展示会場へは入れませんでした。
※	気軽に参加しづらいと感じました。オンサイトの時は、企業展示に少し立ち寄ってお話を聞いて帰ることもありましたが、オンラインだと途中で抜けにくいのではないかと思い、時間的拘束を気にして参加しづかったです。
※	バイオテクノロジーセミナーが定員オーバーのため参加できないという事がなく、良かった。

質問13. MBSJ2020 Onlineの視聴サイトや、各種マニュアル・リハーサル機会の設定といった事前の対応、当日のトラブル対応など、オンライン年会のサポート体制についてお聞きします <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	ポスターページへのアクセスができず、かなり時間を消耗しました。できればブックマークした講演は個々の発表のサイトへのURLをつけた状態でGoogleカレンダーへの同期などをしていただけると、通知機能で漏らさず視聴できること、アクセスが集中するポスタートップページを介さずに直接個々の発表のサイトにアクセスできるため助かると思いました。オンライン開催に限らず、現地開催でもこの機能があると助かります。
※	・プログラムで演題を選んだ後にもとに戻ると最初に戻ってしまう。後ろの方で演題を選ぶとどこにいたかわからなくなる。クリックした時点に戻るのであれば別ウィンドウで表示して欲しい。・職場と自宅の両方で視聴する際に、前日にMBSJ2020をログアウトしないと重複のためかログインできない。事務局の素早い対応には感謝するが、事前にもっと注意喚起して欲しかった(自分の不注意を棚に上げてすみません)。
※	ポスターセッション開始時間前から繋いでいてもつながりにくかったこともありましたが、つながってからはトラブルなくきちんと聞けました。事前に聞きに行くつもりでお気に入りの☆マークをポスターにつけたのですが、ブックマークされなかったのが結局当日毎日探す羽目になったのは不満でした。
※	ポスターの演題一覧がないため、興味のある演題を探すことができず、どこかに一覧があるのか事務局に問い合わせたが、回答は全くなかったため、結局ポスター発表には参加できなかった。

質問14. 年会終了後の約1週間、すべての一般演題ポスターデータ閲覧と一部のシンポジウム・ワークショップ講演視聴を可能としたことについて <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	これまで、何千もあるポスターが日替わりで、時間的な制約からなかなか興味ある発表をすべて見て回るということが難しかった。時間的・空間的制約がないオンラインだからこそ、視聴・閲覧期間の大幅延長は当然に積極的に進めるべきだと
※	もっと事後視聴できるものが多い方がよい

質問15. MBSJ2020 Online視聴のためのツールのうち、よかったと思うものについてお聞きします <複数回答可>(その他)

回答者番号	その他記述
※	ワークショップ・シンポジウムについて大きな不満はなかった。ただポスターセッションに関しては、なかなか「気軽に話を聞きに行く」というのは難しいと感じた。みんなが一斉にプレゼンを始めるので、結局ごく少しの話しか聞けない。ならばリアルタイムのプレゼンではなくツイッター的なオフライン議論に力点を移したほうが实际的ではとも感じる。
※	要旨閲覧機能は、ざっと眺められる従来の要旨集の電子版があるとよかったかと思えます。
※	閲覧済みの画面に戻る機能など、使いにくい点の改善を希望する。
※	サムネイルやアブストラクトを見るだけではだめで、実際のデータをチラ見したい。これはオンラインでは難しい。
※	ポスターの流し見ができる機能が一番便利でした。顕微鏡写真を拡大したデータで見ることができるため、今回の学会に参加した同僚からの評判がよかったです。
※	ツールの中に検索システムがありとても役に立ちましたが、それだけでは全体像がつかめない気がするので、昨年まで配布していたプログラムのような「講演やポスター発表の演題名と発表者の一覧」を事前に配布していただけると助かります。配布は紙ベースでもPDFでもどちらでも構いません。

質問16. 今後の年会の開催形式についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	毎回、会場が大きすぎて、目当ての部屋にたどり着くまでで疲労困憊という感じだった。運動不足のおっさんにはきつ過ぎる。その点、今年は本当に楽にワークショップやポスター閲覧ができてありがたい。オフラインでないとできないことといえば夜の飲み会ぐらいだろう。一部の「パリピ」にしか享受できないメリットである。来年以降も完全オンラインでよい。メリット出張費用の捻出が厳しいため、今後もオンライン開催をメインで行って欲しいです。
※	現地もオンラインもどっちも大事！
※	学会は単に発表を聞く場所ではない。発表のみで良いならなら全てオンラインでポスターとすべき。シンポジウムもワークショップも不要ではないか？
※	本当はその時の状況により、オンラインかハイブリッドを決めるのがいいと思いますが、それでは準備ができないでしょうか。ここ数年は非常時対応ということで完全オンラインと決めて行ったらいいのではないのでしょうか。オンラインでも発表自体には何の問題もなかったと思います。ただ、学会の楽しみには色々な人と直接お話ができることもあり、それができないのは残念ですが。特に修士の学生さんはそれを知らないまま卒業することになり気の毒ですが、、、今は仕方ないと思

質問17. 年會をオンライン開催またはハイブリッド開催(オンラインプログラムとオンサイトプログラムの併用)とする場合、「未発表データを前に議論したいが、発表資料を不正に複写・撮影等されることへの懸念がある」との声が聞かれます。講演の事後配信や一般演題のポスターデータ揭示についてお聞きます <複数回答可> (その他)

回答者 番号	その他記述
※	基本的に学術発表の資料はオープンであるべきと考える。学会で示した程度のごく少しのデータが漏洩して問題に発展するというシチュエーションが、正直言って私には想像しがたい。個人情報的なものは見せられないわけだが、それは会員のみのセッションであっても同じであり、初めから誰に対しても見せるべきではないものである。完全秘匿か完全オープンかの2択でいいのではないか。
※	自己責任で各自が自由に判断すればよい。
※	とくになし
※	医療系の学会大会にも参加することがありますが、スマホやタブレットによる講演中の撮影、ポスターの撮影は当たり前のように多くの方がしております。プログラム集には撮影禁止と記載されていますが、撮影者を注意する人はいませんし、堂々と撮影しております。施設の同僚に見せて患者さんへ還元しようという意識の現れと解釈しております。よって、基礎系の学会も、未発表データを公開して科学の発展に還元しようという意識変革も必要かと思えます。

質問18. その他、年会全般についてのご意見があればお書きください

回答者 番号	意見記述
※	システム構築のことを考えると妥当な金額だと思いました。
※	この大会に限らずオンライン大会は視聴には便利ですが知らない人に話しかけるのはオンサイトより勇気がいると感じました。
※	非常に良かったと感じています。有難うございます！
※	とくになし
※	特になし
※	年会参加費の設定は、参加した上での感覚としては高く感じたが、仕方がないと納得できる金額の範囲だと思った。
※	安いと感じた
※	参加費についてですが、オンライン学会に必要な経費の見当がつかないので、高いか安いかはよくわかりません。初めてのことで、詳細な会計報告をやっていただければ、今後オンライン学会を主宰する方々の参考になって良いのではないのでしょうか。今回はオンライン学会でしたが、発表のノウハウもいつもより見やすく発表がよくわかりました。予想以上に楽しむことができました。年会長をはじめ主催者の先生方に心より感謝いたします。ありがとうございました。